

平成28年6月末の在留外国人数は230万人を超え、過去最高となりました。また、住民の1割以上が外国人という集住地域もあります。さらには、平成28年は、初めて訪日外国人旅行者数が2,000万人を超え、消防職員が外国人と接する機会も年々増えてきています。

このコースは、消防職員を対象に、非常時において、外国人の救援救助活動に迅速・的確に対応できるよう、外国人とのコミュニケーション能力の向上を図るとともに、そのために必要な知識や方法を学ぶことを目的に開催します。

受講を希望される場合は、平成29年2月20日（月）までに「平成29年度 JIAM 年間派遣計画書」をFAXによりお送りください。申込手続きの詳細は、「平成29年度研修計画」をご参照ください。

消防職員コース～非常時における外国人とのコミュニケーション～

- (日程) 平成29年5月17日（水）～6月2日（金） 17日間
- (内容（予定）)
- ・語学研修（共通：英語、選択：中国語又はポルトガル語）
 - ・自治体の危機管理
 - ・非常時に備えた地域コミュニティとの関わり方
 - ・災害時における外国人の救援活動
 - ・外国人への情報提供の方法
 - ・外国人とのコミュニケーション
 - ・自治体の事例紹介
 - ・やさしい日本語
 - ・施策立案演習 など
- (対象) 消防職員（自治体の防災担当職員含む）
- (受講経費) 概ね70,000円
- (予定人数) 30名

■ コースの特長

- 語学授業については、受講者の語学レベルに応じた少人数のクラス編成を行いますので、安心して学ぶことができます。
- ロールプレイを取り入れて、けがをした外国人に英語で様子を確認するなど、実際の状況を想定して再現することにより、生きた英語、使える英語が体得できます。
- 第二外国語として、中国語とポルトガル語の2言語から、地域の事情に即した言語を選択し、それぞれの言語の基礎を学びます。
- 講義や演習等を通して、全国各地の消防職員と意見交換をしながら、議論を深めることができます。
- JICA（国際協力機構）からの研修生を受け入れる際にも、このコースの修了者が活躍されています。



グループワークの様子

【問い合わせ先】（公財）全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号 (<http://www.jiam.jp>) 電話(077)578-5932 FAX(077)578-5906